

17ちゃんの報告

晴耕雨読

2022/10/25

「家の周囲の昆虫・天文情報」

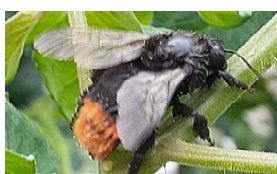
前川 義信

最近すっきり晴れる日が少なくなっています。夜の撮影記録を見ても、快晴の日が少ないのが分かります。これも、地球温暖化が影響しているのでしょうか。

【庭の虫：クロマルハナバチ】

夏からの様子をまとめて報告いたします。

8月はかなり気温が高く、30度を軽く越える日々が続きました。その暑さの中でも庭に咲くムクゲの花には、ハチやチョウがきていました。その中で一番の働き者は、クロマルハナバチです。ムクゲの蜜を集めに1日に何度も来ますが、体中花粉だらけで、「花粉だるま」になっていました。



(上 8月9日撮影)
花がなくなるといつものスマート?な体に戻っていました。
(右 8月14日撮影)

【夏の虫：アゲハチョウ】

春は、アゲハチョウの幼虫が見られなかったのですが、9月中旬過ぎると玄関脇のヘンルーダというミカン科の常緑低木の葉に黒っぽい幼虫が姿を現した。その数35匹を越えました。昨年は、少ない葉のせいで数を減らしてしまった経験から、すぐに5匹を残し、その他はすべて庭のサンショウの木に移して成長を待つことにしました。

しかし、例年のごとくスズメバチが庭で狩りをする様子が見られました。サンショウの木に向かってホバリングをしながら幼虫をねらっています。

そのうちにきれいな緑の体になった幼虫も姿が消え、玄関脇のヘンルーダに残した幼虫もいなくなりました。悲し

いものですがしょうがないと諦めました。



(9月26日撮影)

【庭の虫：ツマグロヒョウモン】

庭の野生スミシの葉を食べて育ち、終齢幼虫は、まるでドクガになるのでは?という雰囲気たっぷりの色と体のつくりになってしまいます。その幼虫がサナギになると頭の後ろに黄金色に輝くトゲが5対現れて、虫好きの来客にご覧いただくと、「きれいー!」と感動の声を上げられます。

あれから3週間もたつとサナギの胸の部分に変化が現れました。わずかですが胸の幅が広がり、黄金色のトゲも色あせてきました。これからの変化が楽しみです。このまま見守っていきます。



(9月28日撮影)

(10月17日撮影)

ちょっと画像の印象が強烈でしたね。

七北田川の土手で発見したツマグロヒョウモンのオスの画像を撮影できたので虫の話の最後にご覧下さい。



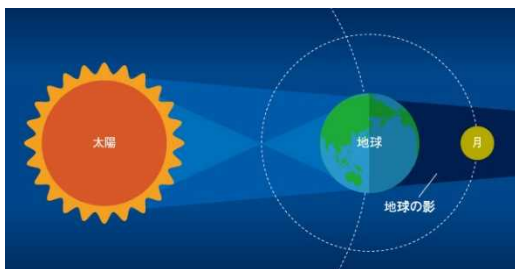
これがオス?と疑問に思うくらい模様がメスとは全く違います。メスの模様はカバマダラというチョウの羽根にそっくりで、オスより美しいと私は思っています。虫の世界は不思議だらけです。参考文献：小学館 NEO 昆虫



2022年11月8日(火)は平日ながら日本全国で見られる皆既月食となります。しかも、皆既中の月に天王星が月に隠される天王星食まで見られる天体ショーが二つ一度に見られるというまたとない機会に恵まれます。

この好機を逃さずぜひ観察計画を立てて、記録に残せるよう準備を進めましょう。

【月食のときの天体の並び方】



→天王星

地球の影に月がすっぽりと入ることを皆既月食と言います。太陽・地球・月がこのとき一直線上に並んでいます。天王星は月の右側直線上にありますが、ずっと離れた場所(太陽と地球の距離の約19倍の場所)にあります。

この4つの天体が広大な宇宙の中で、2022年11月8日に一直線上に並ぶことは、奇跡だと思います。

【観察の方法】

東から南東にかけての空が広く見える場所を選びます。肉眼で月の欠けたところの形や大きさを10分~15分間隔で時刻と欠けた様子をノートなどに書いた円の中にスケッチしましょう。(双眼鏡や望遠鏡があると観察しやすいです。)これを18時から22時頃まで出来ると、終わりまで観察したことになります。皆既中は、月の色を色鉛筆なので見たままの色で塗っておくと、素晴らしい記録になります。短い感想も記入しましょう。

もし雲に邪魔されたら、観察出来た時刻から続けます。

皆既月食		天王星食	
食の様子	時刻	食の様子	時刻
部分食の始まり	18:09	食の始まり	20:44
皆既食の始まり	19:16	食の終わり	21:32
皆既食最大	19:59		
皆既食の終わり	20:42		
部分食の終わり	21:49		

【仙台市の皆既月食と天王星食の時刻表】